

新しい理事が選出され2007年度の日本人会の活動が始まりました。それに伴いこの日本人会広報誌の「ラッテ」も衣替え。「さつき」の新緑に映える藤の花が日本ではきれいなことでしょう。その藤色に今月号から替わりました。古来、日本人にこよなく愛され、用いられてきた藤の花を思い出させてくれるかもしれません。

在ハガニャ日本国総領事就任の挨拶

日本人会名誉会長 冨野 民雄

皆様、はじめまして。

この度、ハガニャ総領事として4月23日に着任致しました冨野民雄でございます。これからグアム在留の皆様の安全とご繁栄に微力ながら尽くすことができることをうれしく存じております。

本年は、パンナム機が日本人観光客を乗せて初めて日本からグアムに飛んでから40年を迎える嘉節と聞いております。グアムは、日本の観光業に携わる皆様が長年大変苦勞されて開発されてきた風光明媚な観光地であり、現在では年間百万人の日本人が訪れる有数の観光地に発展しました。グアムの地の利、潜在的観光資源から言って、ますますの繁栄が期待されると見ておりますが、最近、観光事業に係わる事故が増え、更には邦人が被害者となる犯罪が顕著になってきていると聞いております。邦人観光客が安心して過ごせる観光地であることが、グアムの繁栄の前提でありますから観光事業の事故については事業に携わる皆様に引き続き事故防止に努めて頂くようお願いし、犯罪については当地の治安当局に対し、事件の防止について善処するよう随時申し入れ、邦人観光客に対しても適宜注意を促していくことが肝要と考えております。この関連で当地では、観光業の皆様の協賛の下、運営されているMAI(Micronesia Assistance, Inc.)は、24時間体制で邦人観光客をサポートされていますが、総領事館としてもMAIを初めとして観光業に携わる皆様方と今後とも協力関係を強化していきたいと考えております。また、皆様との日頃からの意見交換を緊密に行って参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

さらに最近の世界的な傾向として災害の巨大化が言われておりますところ、申すまでもなく太平洋に位置するグアムにおいても津波や台風に際する注意を怠ってはならないと思っております。かかる災害に際して総領事館は、事前には皆様が留邦人への注意喚起、事後には皆様の安否確認の任にあたりますが、総領事館との連絡がすぐにとれるよう最新の連絡先の通報等をお願いしたく、また、災害の際には皆様の周辺の邦人の方々の安否についての情報等を総領事館にお寄せ頂ければ幸いです。

さて、グアムには観光とともに重要な米軍基地の存在があります。時あたかも米軍再編の一環として在沖繩海兵隊のグアム移転計画の準備が進められております。本件は「沖繩県民の負担軽減」、「東アジア・太

続く



会長就任の挨拶

この度、2007年度第1回理事会において日本人会会長に選任されました田中哲男と申します。果たして自分に勤まるのだろうかと自問自答しておりましたが、今更引き返すこともできず選ばれたからには精一杯努力していくしかないという覚悟を決めました。

一昨年度は会計部長、昨年度は総務部長と微力ながら2期経験してきましたことが、少しでも役立てばと思っております。もともと存在感の薄い人間でありますから前会長のような強烈なリーダーシップを発揮できるわけでもありません。自分は自分なりに地道に1年間職務を全うするしかないと考えております。

現在のグアムは政府の慢性的な財政難、それにとまなう教育上の諸問題、インフラ整備の遅れ、また日本人来島者数も昨年の9月以来毎月前年を下回るなど必ずしも明るい状況とはいえません。沖繩の海兵隊のグアムへの移転もその全貌が明らかではなく、いまだ水面下の動きでしかありません。ただ一方では日本資本によるホテル、ゴルフ場の買収、多くのホテルでのリノベーションと資本の投下も盛んになってきており将来に向けて明るい兆しも見えてきているのも事実です。すべてにおいて過渡的な状況といえるかもしれません。

「生き残るのもっとも強いものでも、もっとも賢明なものでもなく変化に対応できるものだ」とダーウィンがいったようですが、まさにグアムも、また日本人会も環境の変化にいかに対応していくかがその課題であると感じます。

たまたまこのグアムで生活を共にすることになった日本人、日系人の方々が「日本人会に入っていてよかった」、「会費を払った意味があった」と感じていただけるような活動をしていくことが日本人会の存在の理想でしょうか、少しでもそのような姿になれるように他の理事・監事の方そして会員の方々のご支援をいただきながら努力していく所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

第21代 日本人会会長 田中 哲男



2007年度 各部担当理事

【写真提供：SATOK CO., LTD】

会長	田中 哲男
副会長	ジョージ・ジョンソン
書記	野々村 雅之
会計	片山 彰
<各部担当理事委嘱>	野々村 雅之 (敬称略)
教育部長	濱本 久允
副部長	服部 喜弘
文化部長	平井 文
副部長	杉本 幸一
商工部長	大竹 節子
副部長	青木 一美、ハートマン 正代
渉外広報部長	ジョージ・ジョンソン
副部長	今井 裕子
青年部長	岩中 守正
副部長	今津 裕輔
総務部長	池端 茂徳
副部長	逆瀬川 豊
総務部長	安藤 潤、奥濱 仁
副部長	片山 彰
会計部長	菊地 弘典
副部長	野々村 雅之
監事	柴田 晃伸
	玉井 信彦
	力武 嘉慧



【後列左から】安藤潤、今津裕輔、今井裕子、杉本幸一、平井文、池端茂徳、菊地弘典、逆瀬川豊、

【前列左から】濱本久允、岩中守正、柴田晃伸、片山彰、田中哲男、ジョージ・ジョンソン、野々村雅之、奥濱仁、ハートマン正代、力武嘉慧

【欠席者】青木一美

(敬称略)

第13回定例理事会議事録

日時 2007年4月19日 12:30～
場所 ITCビル2階 コミュニティールーム「ラッテ」
出席者 (理事) 16名 (監事) 2名 (傍聴) 1名 (欠席) 4名
議題

1. 前回事務録承認 ジョンソン副会長
異議なく承認された。
2. 各部報告
 - (1) 教育部 高柳部長
 1. 学校理事会より報告
 - (ア) 全日制学校報告
 - ① 4月6日、新任教員の2名が着任。
 - ② 4月13日小学部・中学部入学式、始業式を行った。入学児童小学12名、中学部5名。小学部・中学部合わせて計73名で2007年度がスタートした。
 - ③ 4月13日幼稚部の入園式を行った。8名が入園し、計10名の園児でスタート。さらに6月に2名入園予定で計12名。
 - (イ) 補習校学校報告
 - ① 4月6日、山上幸男新校長が着任した。
 - ② 4月7日小学部・中学部入学式、始業式を行った。入学児童小学部18名、中学部9名。小学部・中学部合わせて計108名で2007年度がスタートした。プリスクール19名、日本語会話21名を合わせて総計148名。
 2. 2007年度予算の件
教員用更衣室及び倉庫の増築を盛り込んだ2007年度予算を承認した。学校全体で約70万ドルの収入に対し約60万ドルの支出を予定。
 3. 2006年度総括
 - (ア) 学校運営については全日制が安定したものであったが、補習校については教員の確保に特に苦労した一年であった。協力していただいた現地採用の教員の皆様に感謝したい。また現地視察を実施していただいた文部科学省、新校長の採用を支援していただいた海外子女教育財団、査証取得に協力いただいた外務省、総領事館にも感謝したい。そもそも教員の派遣や、資金的な援助において日本政府とは緊密な関係が必要であり、今後も継続的な関係維持が重要と考える。一方で雇用に関わる問題については長期化を避けるために尽力しているが現在も継続している。
 - (イ) 財政面では全日制、補習校どちらも収支改善し、2006年度に懸案であった管理棟の防水工事が実施できた。今後も教育環境の整備を積極的に進めていくべきと考える。
 - (2) 文化部 杉本部長
 1. アート&クラフトフェアの収支報告として、入場料売り上げより236ドル50セント(473名x50セント)を、Make a Wishへ贈呈予定。
 2. Project Unityに緊急参加。(3/24)
文化部大竹副部長・今井理事、総領事館、ボランティア有志の協力により、PDN主催、Agana Shopping Centerにて開催。折り紙コーナーが大人気。

3. リレフォーライフ(5/25 19:00～ 5/26 7:00迄)George Washington High School競技場にて開催。会報誌ラッテにて参加者募集。
- (3) 商工部 田村副部長
特に報告事項なし。
- (4) 渉外広報部 今津部長
 1. 日本人会HP 4月16日に更新。
 2. 編集会議を4月20日(金)に開催する。
- (5) 青年部 ジョンソン部長
秋祭りの収支報告を行った。
- (6) 総務部 田中部長
 1. グループ健康保険加入者 32名(前月比同じ)
 2. 会員の高野リンダさんからダンボール箱6個分の書籍、東洋リアルエステートの小林利朗さんより書籍類、オフィス雑貨の寄付を頂戴した。追ってそれぞれにお礼状を発行した。
 3. 4月27日開催予定の日本人会総会にあたり、会員向け出欠案内、委任状をファックス、メールにて配信告知を行った。
- (7) 会計部 片山部長
 1. 3月末締会計報告 会費納入状況

		3月		累計	
法人	0社	\$ 0	117社	\$	101,762.50
個人	0名	\$ 0	22名	\$	7,880.00
準会員	0名	\$ 0	20名	\$	400.00
合計		\$ 0		\$	110,042.50
 - (8) 総会について
第36回総会上にて、天島実沙子さんへの表彰寄与の推薦があり、審議、承認された。
書記 田中 哲男

第1回定例理事会議事録(未承認)

日時 2007年5月3日 13:00～
場所 ITCビル2階 コミュニティールーム「ラッテ」
出席者 (理事) 17名 (監事) 2名 (欠席) 3名
議題

1. 役員選出 ジョンソン前副会長
日本人会会則第5条4項により、第1回理事会はジョンソン氏が議長となり、第6条2項により2007年度会長に田中氏が選出された。同6条により副会長、書記、会計の新役員が選出された。第13条1項により各部長が新会長より委嘱された。
2. 2007年度予算作成依頼及び各部事業計画依頼 田中会長
*次回理事会までに各部、前年度引継ぎ、及び予算案、年間事業計画をご検討いただきたい。
3. 次回、第2回理事会は5月31日(木)に開催予定。
書記 片山 彰

【広告】

在ハガツニャ日本国総領事館からのお知らせ

～海外での投票は登録申請から～

平成18年3月7日、「公職選挙法の一部を改正する法律案」が閣議決定され、通常国会に提出されました。国会の審議を経て法律が成立し、施行されると、海外在住の皆様が、衆議院議員小選挙区選挙、参議院議員選挙区選挙、補欠選挙及び再選挙への投票ができるようになります。但し、実際に海外で投票を行って頂くには予め、在外選挙人名簿へ登録し、在外選挙人証を取得することがこれまでどおり必要ですので、登録を希望される方は、下記をご参照のうえ、当館窓口へお越し頂くようお願い申し上げます。

1. 在外選挙人名簿の登録資格
 - (1) 年齢満20歳以上
 - (2) 日本国籍を有する方(重国籍者も登録資格がありますが、日本国籍を失った方は対象になりません。)
 - (3) 当館管轄区域内(グアム島、北マリアナ諸島)に引き続き3ヶ月以上住所を有する方

2. 必要書類
 - (1) 本人確認の為の書類
原則として有効な旅券を提示して頂きます。
※但し、滞在許可の更新等で旅券を政府機関に預けている等の理由で旅券を当お持ちでない場合は、自動車運転免許証、グアムID、グリーンカード等を提示して頂きます。
 - (2) 当館管轄区域内に引き続き3ヶ月以上住所を有することを証明する書類(但し、在留届を提出済みの方は不要)
3. 申請に伴う注意事項
 - (1) 申請者は、本人又は同居家族(在留届の氏名欄及び同居家族の欄に記載されている方)に限ります。※詳細はお問い合わせ下さい。
 - (2) 転出届けが未提出の方は、市町村役場での申請を行って下さい。
 - (3) 在外選挙人証の交付まで、概ね2ヶ月程度が見込まれています。

【お問い合わせ】

在ハガツニャ日本国総領事館(領事班)
 電話: 646-1290 FAX: 646-1490 メール: infocgj@ite.net

第36回日本人会定時総会議事録

日時： 2007年度4月27日 19:00～21:00
 場所： フィエスタリゾート グラム

1. 開会宣言

2. 議長選出

推薦により、MH I の中嶋則夫氏が選出された。

3. 総会成立宣言

法人	117 社	1256 票
個人	222 名	222 票
持票数合計		1478 票
委任状を含めた出席数		944 票

グアム日本人会、会則第7条第3項に従い、総会の設立が宣言された。

4. 第36回日本人会定時総会での挨拶

在ハガツニャ日本国総領事 富野 民雄

この度、ハガツニャ総領事として着任致しました富野でございます。これから一時も早く当地の事情に精通しまして、少しでも皆様のお役に立つようになりたいと考えておりますので、ひとつよろしくお願ひします。

前任地はバブア・ニューギニアでありまして、丁度、赤道を境に南北等位置の関係にあり、気候が良く似ており、早く当地に溶け込むことができそうだとの印象をもちました。

当地の印象といえば、バブア・ニューギニアも南海の海洋国家であります。島の大きさの違いからでしょうか、グアムの空は、特に雲の姿が非常にダイナミックで、朝は幾つもの大きな雲が湧き上がってきて、夕方には空高く筆ではいたような雲が縦横に走っていて、私には恰も羽衣をまとった天女が何人も天空にたたずんでいるような光景に映りました。どこかにグアムのことをパラダイス・アイランドと称しているのを見ましたが、なるほどと思いました。

また、電信柱の太いのも驚かされました。超ど級の台風が来ると聞いておりますが、頼りがいのあるどっしりとした電柱に、電柱、かくあるべしとの印象を持ちました。

グアムの経済につきましては、年間100万人の日本人観光客を誇る観光産業が何よりもまして重要です。先日、日本人会の理事方々から、当地観光産業は幾多の試練を乗り越えて漸く上向きに転じてきたところであるとのこと説明がありました。この上昇傾向を維持し、更なる飛躍につながるように、総領事館としても可能な限りの協力を惜しまないつもりであります。

観光の振興には当地が安全であることが何にもまして重要です。最近、日本人観光客が巻き込まれる事故や事件が増加している聞いております。かかる事故や事件を未然に防ぎ、起きてしまった場合に適切な措置を直ちに講じるためにも、総領事館と日本人会とのこれまでの緊密な関係をこれからも維持したいと考えております。パラダイスには太い電柱が必要です。総領事館と日本人会を結ぶ太い絆を大切にしたいと思ひます。

最後に、沖縄の米軍海兵隊のグアム移転計画についてですが、日米両政府で準備が進行しております。この新しい事業を円滑に遂行させるため、総領事館も与えられた使命を果たす所存です。この事業がグアムの経済発展に寄与し、日本人会も繁栄した、ひいては日米両国の友好関係の増進に貢献することを願っております。

以上、簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。

5. 総会議事録活動報告会長総括

第20代グアム日本人会 会長代理 ジョージ・ジョンソン

本日、勝野会長の退任に伴い、会長代理として総括報告をさせていただきます。現在の日本人会会員は3月の末の集計では法人117社、会員222名、準会員20名となっております。

2006年度を振り返ってみますと、いろいろな意味で日本人会のあるべき姿を改めて考えさせられる事が多い年であったような気がいたします。皆様のサポートのおかげで大きなイベントの秋祭りは大成功となりましたが、予想外のグアム政府の財政問題、日本人学校の運営など、今後の課題となる出来事がありました。理事の皆様におかれましては、各部門でご尽力、奔走いただき、理事会では通

常より一段階深いところの意見交換ができた年ではなかったでしょうか。日本では政治、システムなど改革という言葉がとかく話題となっていた2006年でしたが、海を越えたグアムでも同じように、私たちの中で「日本人会とは」というテーマを再認識、改めて理事としての役割を考えさせられる意味深い1年でありました。

勝野会長をはじめ、退任をされる理事の皆様、大変お疲れ様でした。継続される理事の皆様におかれましては、来年度もご協力いただけますようお願い申し上げます。

6. 各部報告

教育部

高柳教育部長

2006年度の教育部は、昨年度にひきつづき部長 高柳、副部長 前田で担当させて頂きました。教育部の活動は、グアム日本人会会則において「学校理事会に参画し、日本人学校(全日制及び補習授業校)の経営監督にあたる。」と定義されています。この一年間の振り返りますと、経営監督という枠に止まらず運営監督をしながら経営そのものに携わる活動を行ってきたと実感しております。またここにいらっしゃる日本人会会員の皆様におきまして、それぞれにお考えはあると思いますが、一概に学校への関心が大変高まった一年だったと思います。

まずこの一年を経営という側面から報告いたしますと経営の基盤となる両校の生徒数については年度末比較で全日制が小中学部に幼稚部を含め11名増、補習校が小中学部にプリスクール、会話クラスを含め10名増と昨年からの増加傾向を保ちました。保護者の方におかれましては、それぞれに学校に対する考えや意見をお持ちとは思いますが、ご子弟を学校に通わせていただいたことに感謝したいと思ひます。この生徒数安定のおかげにより、2002年の台風ボンソナ以降、漏水に悩まされておりました学校管理棟の防水工事の実施や職員室、各教室のエアコンの修理や増設、カーテンの交換などを行うことができました。もちろん9月に開催しました日本人会チャリティーゴルフからの寄付金もこうした環境整備に有効に利用させていただきました。今後も未着手となっている設備・施設の改善のため来年度は職員更衣室兼倉庫の増設、スクールバスの椅子の張替えなどを行う計画となっております。

次に学校運営という側面からの報告をいたしますと、全日制が帰任なさった吉崎先生にとって3年目となる仕上げの年であった一方、補習校は森本先生を校長とするスタートの年でありましたが、結果的には海外子女財団の採用教員支援プログラムを利用し、過去に日本及び在外教育施設で管理職経験のある新校長を再度お迎えすることとなりました。一年間お努めいただきました森本先生をはじめ、ご協力いただいた先生方に深く感謝の意を表したいと思ひます。さらに今年度は文部科学省からの視察もございました。グアム日本人学校は、文科省からは教員の派遣、外務省からは財政的な補助や査証発行など側面支援などを受ける公的な在外教育施設です。その公的な機関として指定され存続するには、地域の日本人会が基盤となっていることが定められております。こと、教育に関しましては会員の皆様それぞれにお考えがあることと思ひますが、グアムに暮らす子供たちに日本語で学ぶより良い環境を用意することは、会員の方々の総意と思ひます。

今年度の日本人会教育部両名は今年度ももちまして退任させていただきます。力及ばぬ部分もございましたが、グアム日本人学校が日本人会を基盤する公的な組織であることと、教育環境整備を進めることを常に肝に銘じ取り組んでまいりましたことはご理解いただきたいと思ひます。最後になりますが、日本に帰国なさった勝野理事長ならび理事の皆様、両校の先生方、両校PTA代表の方々の、今年度学校経営・運営へのご尽力に対し深くお礼申し上げます。

文化部

杉本文化部長

2006年度の文化部は私、杉本が文化部部长として以下、大竹副部長、峰岸理事、今井理事と大竹副部長以外、新メンバー交代の中で悪戦苦闘しながら年中行事を進めてまいりました。

2006年度の文化部活動方針として日本の伝統文化やスポーツなどの活動を通して、日本人会会員の親睦を深めることを中心に、地域社会との交流や協力を深めることに重点を置いて活動して参りました。

実際の実行イベントは以下のとおりです。

- 1. 10月8日に商工部主催イベントである『著名人講演

続く

会』に部分参加し、参加者案内や当日運営のサポートを行いました。例年、文化部主催の美術明文化講演会がスケジュールの都合で開催できないための協力参加と言う形でオークラホテルにて開催されました。

- 10月28日にハロウィンパーティーをTGI FRIDAY'Sにて開催しました。天候にも恵まれ夕方より総勢163名(大人76名・中学生5名・小学生68名・幼児14名)の参加を頂き、大いに盛り上がりました。ハロウィンパレードも個性あふれるコスチュームでのパフォーマンスに感動いたしました。
- 11月28日の秋祭り外郭団体の受け入れ準備ならびに前日のストリートカーニバルのサポートを実行しました。秋祭り当日はプログラムスケジュールの運行に協力をいたしました。
- 12月9日スポーツコンプレックスで開催された国際交流卓球大会の告知ならびに運営のサポートを行いました。このイベントは日本レクリエーション卓球連盟とグアム卓球協会・GVB・日本人会の協力の下、日本からの参加者18名、グアムからの参加者16名、日本人会からの参加者4名で盛大に行われました。日本レクリエーション連盟の加藤会長よりは寄付金と来年11月に日本で開催予定の国際親善第3回国際卓球大会の招待を打診されています。
- 3月10日アート&クラフトフェアをオンワードビーチリゾートホテルで開催。総勢580名(大人475名・子供105名)の来場がありました。入場料から一部を寄付として納めることとしています。来年度は10周年のアニバーサリーとして取り組んでいきたいと思えます。
- 3月9日から17日までニッサンギャラリーにWomen's Art Exhibitに参加。世界の文化としてのアート展示として日本の文化を紹介。
- 3月24日P.D.N主催のProject Unityのイベントに参加しました。このイベントはグアムに住む全ての人種やその文化を紹介・体験するイベントです。文化部は折り紙コーナーを開催し、子供たちと一緒に楽しく数々の作品作りにチャレンジしました。非常に大反響でした。他に協力支援としての活動は以下のとおりです。
日本語教師会の原田先生の日米協会賞受賞を通して11月29日にUOG(グアム大学)で他の表彰者2名を交えての講演会とパネルディスカッションの告知活動を実施いたしました。この賞は日本をアメリカに伝えることに貢献した方を対象に毎年全米の中で表彰しています。また文化部後援として卓球クラブの発足に立会い9月からの活動のサポートを行ってきました。
この1年、無事に日本人会活動が開催できましたのも、日本人会会員の皆様のご理解ご支援はもちろん日本国総領事館や文化サークル活動の皆さんのご協力があったからだ改めて感謝申し上げます。さらに数多くのイベントに日本語ボランティアとして日本語教師会の先生達を含めて学生のパワーが何よりも有難かったです。文化部のイベントは大小様々なテーマで開催していますが、これからも会員相互・地域との交流を目的に活動をしてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

商工部

服部商工部長

2006年度商工部は、服部、田村、青木の3名で以下の活動に取り組みました。本年度の特色といたしましては、「法人会員同士の親睦、連携を意識し、且つ、個人会員の皆様にも参加いただけること」を意識して活動いたしました。

[商工部活動内容]

- 緊急連絡網の整備(7月)
万一の非常事態(大規模自然災害、テロ、等)に備え、会員を対象とした、緊急連絡網を整備。領事館との連携も考慮した緊急時の連絡基盤を確立した。
- 中学生グアム海外研修(現地企業訪問)への協力活動(8月18日)
日本の中学生に対し、グアム島内の企業への訪問、見学、体験活動をサポート。会員企業の協力により、次代を担う子供達の育成活動に貢献した。
- コンピュータセミナー(エクセル講習会)の開催
デロイト・トウシュ・トーマツ社のご協力により、4回(8月30日、9月6日、9月13日、9月20日)で1コースを開催。募集開始後10日間

続く

で定員に達する等、ソフトウェア習得に対する関心の高さがうかがえた。

- 商工部・文化部パーティー開催(10月6日)(講演:時事通信社 中野哲也氏)
グアム政府関係者及び、韓国、フィリピン、中国、パラオ、の商工関係団体を招き、懇親パーティーを開催。70名を超える参加者となり、地域法人組織層の親睦を図る良い機会となった。
- 「海外派遣勤務者の職業と生活に関する調査」活動(11月~12月)
日本商工会議所の協力により毎年実施されている標記事項につき、本年度も調査及び調査協力を実施。

【その他の協力・協賛活動】

- 日米間の規制改革要望に関する調査(在ハグニャ日本国総領事館 8月)
- 日系企業対象総合セミナーコース(デロイト・トウシュ・トーマツ社) 12月4日、5日の2日間、14コース開催
2006年度は、法人会員、個人会員の皆様方からの多大なご協力、ご援助を賜りましたおかげで、多彩な活動を行なう事ができました。本報告とともに、会員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

渉外広報部

今津渉外広報部長

2006年度は日本人会の会報誌「ラッテ」の編集発行及び日本人会ホームページの維持管理を中心に取り組んだ。

「ラッテ」については毎月1回編集会議を開催した。渉外広報部と総務部の理事、事務局の方々以外にボランティアの皆様のご協力をいただき、日本人会の活動報告はもちろん、有益で親しみを持っていただける紙面作りを目指し活動した。また当初毎月1,000部を発行していたが、会員数の増加に伴い、2006年7月号からは毎月1,050部を発行している。

ホームページについては「ラッテ」の発行に合わせ、毎月1回の更新を続けた。知りたい情報へより簡単にアクセスできるよう、カテゴリー分けなどサイト全体の構成を変更し情報を整理した。また「暮らしのページ」など、過去の記事をいつでも閲覧できるよう情報の蓄積に努めた。過去1年間の訪問者数を見ると毎日100以上、月平均で3,400の訪問者がある。ホームページを通じた日本からの各種問い合わせも多く、事務局で対応していただいている。

以上の中心業務二つについては、積極的にご参加いただいたボランティア編集員の皆様、日本人会事務局の皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます。また編集委員からの記事の依頼や取材に快く応じていただいた会員の皆様、ありがとうございます。今後もより多くの方にご参加いただき、より一層充実した会員相互の交流の場が作られればと思う。また11月の秋祭りにおいては、関係者皆様のご尽力により、北海道新聞と、札幌近郊で30万部の発行部数を誇るフリーペーパー「オントナ」の取材を受けた。北海道新聞では祭りの翌日にその記事が1面に掲載され、またオントナでは元旦に発行された誌面に、グアムの観光情報とともに祭りの様子が大きく紹介された。日本人会には北海道出身の会員も多く、日本に住む親族、友人から記事について連絡を受けた方も多いたのではないかと。渉外広報部では取材陣の取材補助などを担当した。取材記者からは、その後祭りの感想をいただき「ラッテ」紙面で紹介したが、いずれも「素晴らしい機会と感動をいただき、ありがとう。」「グアム日本人会の秋祭りがいつまでも続くように祈っている」との言葉をいただいた。

これからもグアム日本人会の活動が、広く認知され、理解いただけるような活動を継続する必要がある。会員の皆様には積極的にご参加いただくとともに、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

青年部

ジョンソン青年部長

本年度は主に2つのイベントを企画実行いたしました。ひとつは「おはようWalking」で、タモン湾周辺の清掃活動、早朝よりタモンのゴミを拾いながら、日本人会メンバーの交流を深めるというイベントです。約120名ほどの大人、子供たちに集まっていただきました。天候にも恵まれ成功であったと思います。スポンサーのバーガーキング社より、朝食150人分いただき、大変好評でした。日本人会からの支出は飲み水、水、ゴミ袋などで、比較的少ない費用で大きな効果を

続く

得る事ができました。

二つ目のイベントはグアム一大イベントの日本人会秋祭りでした。青年部が進行の指揮をとって行うイベントではありますが、準備を含め、日本人会理事の方々いろいろな形で援助いただいております。天候面では3回ほど強いスコールにみまわれ、当日のチケットセールスは、その前の年の売り上げには及ばない結果とはなりましたが、約2万7千人という予想以上の来客で賑いました。結果としまして、ブース代金、チケット売り上げ、グアム政府観光局を含めたスポンサーからの寄付金などを合わせた総収入は、16万ドルで、去年の収入額7万2千ドルと比べますと約1万2千ドルの減益でした。この内訳にはグアム政府観光局からの1万1,250ドルの減収分が含まれます。青年部ではこの総会までには収入となるよう努力いたしました。最近のグアム政府の財政事情により、支払いの可能性の有無さえいだけない状態であり、今回の総会では、減収後金額で収支報告をする事となりました。支出面では、毎年上昇しているコストをおさえることに専念し、2005年度の秋祭りとほぼ同じ額で終わらせる事ができました。

来年度への課題として、グアム政府からの援助金は期待できないことを念頭に置き、ここ2年間で定着しました外部企業のスポンサーシップ導入を拡大することで収入を補い、同時にコスト削減を出来る限り定着させたいと思っております。経費内容ですが、一番大きな支出はテナント、ステージ、ライト、PAシステム等の設備費、続いて屋台での物販、金魚などの仕入れ費用、PDN 宣伝広告費、抽選用景品、そして、ドリンク仕入れ、グアム政府許可申請費などで約15万ドル。必要経費だけを見ても、大変大きな支出であります。

2006年度決算は外部からのスポンサーサポートを取り入れたことで、この支出を大きくカバーし、同時にPDNの広告を取り入れたことで来客数を大幅に増やすことができました。

昨年度との大きな違いは、大幅に減少している日本人ボランティアの補充としてグアム大学、ハイスクールで日本語を学んでいる生徒さんたちを募り、JALTA(Japanese Language Teachers Association)のローカルの若い生徒達も日本人の方々と一緒に方をならべてお祭りのお手伝いをさせていただきました。また、もうひとつの新しい試みとして北海道新聞などのメディア関係を招待いたしました。日本の新聞でグアム祭りが大きく取り上げられ、一大イベントとしての日本人会秋祭りをレポートしていただきました。

このグアム最大イベントは日本人会メンバー全員の協力によって成し遂げられており、グアムに住むローカルの方々との親交を深める絶好のチャンスとなっております。

青年部より、活動報告と同時に皆様へ心より感謝、御礼申し上げます！

総務部

田中総務部長

2006年度の総務部は部長 田中、副部長 菊地で担当させて頂きました。事務局を中心として会員の皆様とのコミュニケーション、各種サービスの提供、を主な役割とし会員の皆様からのご要望を日本人会の活動に出来る限り反映させて行く心がけて参りました。また、各部で企画されるそれぞれの活動が円滑に運営されるよう、各部間の調整、ならびに会長、副会長との繋ぎ役としての役割も担って参りました。

【活動内容】

1. 会員数

2006年度末の会員数は、法人会員117社、個人会員222名、準会員20名となっております。法人については従来の企業の他に、個人経営企業の参加も増えてきており、今後も多くの加入が望まれるところです。個人会員の入会者の増加は顕著であり、2000年度の117名から105名も増加しています。

2. ライブラリー

3月末日現在の蔵書数は16,003冊(前年度末14,865冊)、ビデオ、DVDは1,832本(前年度末1,560本)と会員の皆様からのご寄付も多くかなり増えてきております。蔵書については、小説類はもとより、新書、絵本、マンガ、健康、料理、医療、心のケアなどのジャンル別コーナーを設け会員の皆様の便宜を図っています。ビデオは洋画、邦画をはじめ、ドラマ、バラエティー、子供向け教育ビデオなど内容も充実してきています。また会員の方から大量の韓国ドラマDVDの寄付があり、日本でのブームに乗って貸し出しも非常に多く、感謝の声も多数届いています。今期も多くの方々からのご寄付により、より充実した

続く

会員へのサービス提供ができたことを感謝するとともに、今後も管理体制に万全を期していきたいと思っております。

3. グループ健康保険

2003年度からスタートしたグループ健康保険は、現在32名の会員の方(前年度より5名増)にご利用頂いております。自営業、企業保険に属さないパート勤務などの方々にとって、金額、内容的にも大きな安心をご提供出来ていると自負しております。今後もより多くの会員へサービスを提供できるよう引き続き対応していきたいと考えております。

4. コミュニティールーム「ラッテ」の利用

会員の増加に伴い、事務局隣の「ラッテ」ルームを利用してのサークル活動もより活発になっています。月曜日の隔週午前中は「趣味の会」の手芸サークル、夕方より「沖縄三味線(さんしん)」。火曜日午後は「ピースクラス」と「子供のための日舞クラス」。毎週火、木曜日の午前中に開催の「英会話クラス」も12月のイブリン・テベ先生退任の後、この3月よりインディア・ブラウン先生を向かえ新たにスタートしました。金曜日の午前中は長年にわたりパッチワークサークル「パパイア倶楽部」があり各会員によるすばらしい作品は例年行なわれるアート&クラフトフェアに提供いただいております。この他にも夕方よりの「ヨガクラス」(現在開催時間調整中)、「大人のための日舞クラス」、毎月定例開催の学校理事会、日本人会理事會、日本人会ニュース発行のための編集会議など多くの会員の活動の場所としてご利用いただいております。

また「ラッテ」メインルームの収納スペースでは、秋祭りにて使用する御輿、太鼓その他のイベント関係備品の保管をしています。ラッテ使用についてはITC(フジタプロパティ)のご協力をいただいております。今後もより多くの会員の方が集い、充実したコミュニケーションを図れる場を提供できるよう、皆様からのご提案、利用申込みをお待ちしております。

5. 新年祝賀會

1月1日、オンワード・ビーチ・リゾート、アクアボールルームにて開催されました。100人を超える会員の参加の中、小林総領事、勝野日本人会会長の年頭挨拶、年男である飯塚コーポレーションの飯塚氏による乾杯の音頭により和やかな1年のスタートを切りました。また特別ゲストとして巨人軍の原監督にもご列席いただき、より一層の花を添えていただきました。

6. その他の活動

5月にはGuam Homeland Securityの緊急災害時における管理体制についてのセミナーに総務部として参加しました。本年3月には文化部長主催のアート&クラフトフェアにて、事務局に受理保管していた会員の方々から寄付された物品を販売させていただきました。

7. 事務局

昨年12月に小熊陽子さんが退職、後任として中尾真弓さんが入局しニュース編集、ライブラリー補助を担当しています。他に芳賀悦子さん(会計、庶務全般)、テノリオ美奈子さん(ライブラリー管理全般、ニュースレター発送管理)と現在3名のスタッフ体制により事務局運営を行なっています。会員の声の届く明るく、より充実したコミュニケーションの場としての事務局を目指して今後とも努力していきたいと思っております。【感謝状をお送りした人】

山本 哲男氏(ウェスタン・フロンティア・ビレッジ)前回総会上にて表彰。

好祭会(代表 飯塚 保氏)前回総会上にて表彰。

小林 正典氏 (個人・学校理事退任にあたって)

井上 真智子氏 (個人・学校理事退任にあたって)

中野 哲也氏 (商工部・文化部パーティーにて、セミナー講師として参加下さったことについて)

美輪 明宏氏 (ホテルオークラにての講演会に際して)

イブリン・テベ氏 (長年に渡る英会話講師退任に際して)

会計部

片山会計部長

収入の部

2006年度法人会員101,763ドル(117社、昨年度111社 97,990ドル)
 個人会員 7,880ドル(222名、昨年度198名 7,200ドル)
 準会員 400ドル(20名、昨年度18名 360ドル)
 会費収入合計 110,043ドル(昨年度105,550ドル 前年比104.3%)
 諸事情により法人が数社脱会したが、その脱会以上の法人数が新規加入し全体としては法人会員、個人会員ともに増加した。また、活動収入

続く

としては合計180,102ドルであった。各部のそれぞれの活動において、積極的で、かつ収支バランスのとれた地道な活動が展開された。寄付その他収入については、金銭による寄付、各イベント等にご提供いただいた景品、書籍等で合計24,408ドルを寄付その他収入として計上した。

秋祭り援助金については、グアム政府の財政逼迫による寄付金の削減により、当初計画からの減収を余儀なくされた。今後の秋祭りにつき、会計担当の立場としては、当該政府関連の寄付に頼りすぎずに、新たなスポンサーの拡充等による、より一層の収支バランスの改善、安定化を図っていく必要があると思われる。

支出の部

活動費については収支バランスを見極めた上での一定の支出が行われた。維持費については特記すべき大きな支出はなかった。また本年は日本人学校への寄付25,188ドルを行った。その他の寄付を含め、寄付金合計支出としては28,324ドルであった。

全体収支

会費収入、各活動収入、寄付金等を合算した収入をもとに、各活動費、会運営維持費、寄付金等を全体の収支バランスの中で支出した。前述のグアム政府財政逼迫による秋祭りへの援助金の当初計画からの収入の減額があったため、当期中の収支としては最終的に6,336ドルのマイナスで終了した。結果、5,314ドルを次期に繰り越すこととする。

7. 次期理事及び監事の選出

ジョージ・ジョンソン会長代理から現理事及び監事任期満了宣言がなされた。選挙管理委員紹介後、田中選挙管理委員長より選挙方法の説明、立候補者の紹介が行われた。候補者と定員が一致しているため、全員当選の旨宣言された。

《理事立候補者》(順不動、敬称略)

安藤潤(憐サトック)、青木一美(アルバンビーチクラブ)、濱本久允(濱本ガーデンズ)、ハートマン正代(オンワードビーチリゾートグアム)、服部喜弘(馬場コーポレーション)、平井文(全日空)、池端茂徳(オー

シャンジェットクラブ)、今津裕輔(リープコーポレーション)、今井裕子(個人)、岩中守正(アイランドメディアインク)、ジョージ・ジョンソン(個人)、片山彰(ラムラムツアーズ)、菊地弘典(前田パシフィック)、野々村雅之(PMT)、奥濱仁(個人)、大竹節子(個人)、逆瀬川豊(ワタミ U.S.A.)、柴田晃伸(南貿グアム)、杉本幸一(ワタベウェディング)、田中哲男(H T M)

《監事立候補者》(順不動、敬称略)

力武嘉慧(ファーストハワイアンバンク)、玉井信彦(デロイトトウシュエトーマツ)

8. 表彰

日本人会会則第14条により、理事・監事を連続3年間努めた次の4法人会員が表彰された。田村勝(H.L.S.)、鳥井義惟(バンクオブハワイ)、前田裕子(ハーモニーキッズ)、峰岸睦子(グアム合気会)。また10年以上にわたるパイヤクラブを中心とした文化活動とその他各種のボランティア活動に対して天島実沙子氏に感謝状が手渡された。

9. 総会閉会宣言

中嶋則夫議長

日本人学校2007年度派遣教員:

日本人学校 高柳教育部長より新任の馬淵豊校長、岩嶋温子教頭、市村貴広教諭、芳賀俊英教諭が紹介された。

補習授業校 高柳教育部長より新任の山上幸男校長が紹介された。

10. 閉会宣言

田中哲男総務部長

*****人事往来*****

All Nippon Airways Co., LTD

勝野 賢 (帰任) 平井 文 (着任) <敬称略>

退任のご挨拶

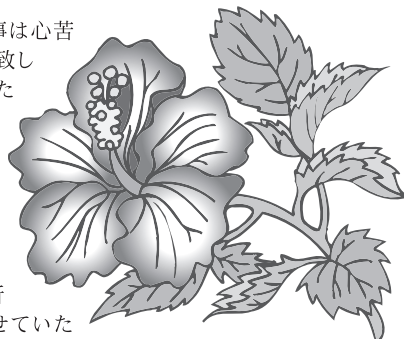
第20代 日本人会会長 勝野 賢

この度、会社の人事異動に伴い理事を退任する事となりました。日本人会理事として2年間、理事、監事、事務局の皆様を支えられ何とかその重責を果たす事が出来ました。特に、会長をおおせつかったこの1年間はその重責に耐えられるのかという不安もありましたが、ジョンソン副会長、高柳副会長とスクラムを組み、各理事、監事の皆様と共に一生懸命、理事会運営を果たしてまいりました。

大成功で終わった秋祭り、そして各イベント活動、大変苦労した日本人学校の運営などなど、数え切れないほどの忘れられない良い思い出をいただきました。

あと1期を残し退任する事は心苦しく、心残りの気もしますが致し方ありません。一緒に頑張った理事、監事、事務局の皆様、大変ご苦労様でした。そして、本当にありがとうございました。心より感謝いたします。

最後に、グアム日本人会が今後益々発展することをお祈りして私の退任の挨拶とさせていただきます。



『リレーフォーライフ』参加者募集中!



先月号で紹介したRelay For Life(リレーフォーライフ)への参加者を募集中です。癌の撲滅運動と支援活動として世界各地で行われているこの催しは、夜の7時から朝の7時までの12時間にわたって競技場のトラックをメンバーが交代で歩いたり走ったりするものです。日本人会文化部としてこの活動に賛同し協力の一環としてイベントに参加することにいたしましたので参加希望の方は日本人会事務局までご連絡ください。

日 時: 5月25日 / 19:00 ~ 26日 / 7:00 (トータル12時間のイベント)

場 所: George Washington High School 競技場

参加費: 無料(日本人会として出費しています。)

参加方法: チームを作ってチームとして参加してもよし、個人とて、友達同士で、親子での参加もよし。楽しみながらエクササイズの一環として30分でも1時間でも参加しよう。



Gentle Care Dental Associates P.C. ジェントル ケア デンタル

日本人会会員の皆様、初めまして、こんにちは。ジェントルケアは1994年に米国人の歯科医師、Dr. スールが自らデンタルオフィス内の設計、デザイン、建築をして開業しました。

イパオロードからマリンドライブに出てすぐ目の前にあるヘンギーブラザに見るのは、ジェントルケアのロゴとなっているマスコットで歯ぶらしを抱っこするコアラのケアベアです。建物の1階の102がジェントルケアの診療所となっており2階は診療所とD.S.I.という歯科医療のディスカウントを提供させていただいている会社があります。そこは、Dr. スールとパートナーであり小児歯科専門医のDr. ココが開業しました。保険を持っていらっしゃる患者さんや保険のご利用限度額の少ない患者さんはより気軽に安い金額で歯科の健診や治療、コスメティックなどの大きなディスカウントを受けることができます。又、根管治療等の歯内治療歯科のハイタワークリニック、矯正歯科のパシフィックスマイル、口腔外科のパシフィックサージカルアートでも一部を除いてD.S.I.ディスカウントプランの使用は有効です。グアムではコスメティック治療にあたるインプラントやホワイトニングにおいて保険の使用が不可能となっているのでD.S.I.プランはさまざまな患者さんのニーズにお答えすることが出来る様にご利用いただいています。ジェントルケアは今「一生の白い歯を1時間で」というコスメティックホワイトニングを行っており、時間をかけずに明るいスマイルと白い歯を提供させていただいています。マウストレーとホワイトニングジェルによる方法も行っておりますがこちらは安全なレーザーブリーチング用の特別なレンプラントのライトを使用することにより従来のホワイトニングよりインプラントに効果を見る事が可能となりました。ホワイトニング用の歯みがきでのメンテナンスにより一生白く輝く歯を保つ事ができます。ウェディング、卒業式、お誕生日を目の前にされている患者さん、新しい事業を始めるご計画のある患者さんなど、それぞれ一生に一度の大切な日がより輝いた日となりますようにジェントルケアは日頃よりお手伝いさせていただきます。

ジェントルケアの特徴は、子供さんからご高齢の患者さんすべてにアットホームな気持ちでいつもリラックスしていただけるようにと、診察室のすべてのチェアの上にTVを設置しております。また、ウェイティングルームでは保護者の方が安心できる小さなガラス張りキッズルームを設け、安全な環境で子供達がテレビやビデオを楽しんでいる様子が外から見えるようになっております。治療後の励ましの思いと毎日の歯みがきは忘れずにとの願いをこめてマスコットのケアベアロゴ入りバルーンをお子様にお持ち帰り頂いています。今後ともジェントルケアのスタッフ全員で患者さん様を暖かくお迎えできますようにジェントルケアの気持ちを大切にまいります。

ご相談、ご質問は電話、FAX、Eメールでお気軽にご連絡下さい。
英語でのアシスタント：671-646-8858/7758
日本語でのアシスタント：671-686-0782
FAX：646-3578（日本語：477-8860）
278 South Marine Drive, Hengi Plaza Suite 102 Tamuning Guam 96931
ウェブサイト：<http://www.gentlecaidental.com>
Eメールアドレス：smile@gentlecaidental.com



「今月の顔」—旅路の果てに— 帰山 喜代子さん Vol. 46

世界中を旅され、最後にグアムを選んで帰って来られた方もいます。現在、グアム・メモリアル・ホスピタルでナースエイドをされている帰山喜代子さんからお話を伺いました。



- Q: まず、現在のお仕事のお話を聞かせていただけますか？
- A: GMHで看護師のアシスタントをするナースエイドの仕事をしています。勤務は午後3時から11時まで。患者さんの血圧、体温などの4時間おきのバイタルチェックが毎日の主な仕事です。
- Q: このお仕事を選んだきっかけというのはありますか？
- A: 若い頃から日本を離れてあちこちで暮らしていましたので、両親の死に目に会えず大変悔やんだ思い出があります。その時の申し訳ない気持ちとか、懺悔の想いと申しましょうか。5年前、アリゾナにいたときに勉強してナースエイドの資格を取りました。
- Q: アリゾナで働いていた時はいかがでしたか？
- A: ツーソンからメキシコ国境に向かう途中の、グリーンバレーという所にあるリタイアメントコミュニティで働いていましたが、そこには80代、90代のまさに古き良き時代を知っている世代の方達がたくさん生活していました。アリゾナの医療施設は大変素晴らしいのですが、その中で暮らす人達は孤独な人もたくさんいて、親族が誰も面会に訪れて来ないという寂しい境遇のお年寄り達もいます。それに比べると家族の絆の強いグアムの人たちはとても幸福ですね。
- Q: お仕事をされる日常の中でも、何か感じられる事はありますか？
- A: 癌の末期の患者さんが亡くなる2日前に髭の手入れをされていたという話を聞いて、自分で自分のすべき事を最後に選ぶという姿は、

人間としての尊厳だと教わる想いがしました。また、こうゆう患者さんたちには神父さんやシスターがついてチャペルでお祈りをしたり、最後までスピリチュアルなサポートがありこれはとても素晴らしい事だと思います。こうゆう心のケアこそ病気に直面している方には一番必要なことですから。

- Q: 帰山さんは世界中いろいろな所で生活をされたり、旅行もされているとか？
- A: フィリピンのセブ島に5年程住んでいた関係でグアムへも度々訪れていました。後にダイビングをはじめ、観光の仕事しながらグアムで10年暮らしました。旅行が好きで南米のアマゾン、南アメリカ大陸最南端ビーグル海峡の手前のチリ、アルゼンチン、中東、インド、チベット、内モンゴルをはじめ、中国大陸は山東省を除く全部の省を訪れ、南極大陸以外全ての大陸へ行っています。特に遠いところでは、ヒマラヤのチャモランマのベースキャンプ、南米のインカ古道をトレッキングをしながら3泊4日でマチュピチュまで歩いて旅をした事などが印象的でした。その他、オーストラリアの大陸横断鉄道やシベリア鉄道の列車の旅など、お金はかけないけれど時間をかける旅という点では貴重な体験だったと思っています。
- Q: 最後にグアムを選ばれた理由は何でしょうか？
- A: アリゾナに住んでいた時、グアムの青い海が恋しくて仕方ありませんでした。温暖で故郷の日本にも近く、ローカルの人たちのやさしさや人懐こい暖かさがとても懐かしかったです。

若い頃、あちこちを旅していた帰山さんの通称は「フーテンの寅子」。世界各地から届く絵葉書で、家族はその消息を知らされていました。寅子さんならぬ帰山さんの生まれ故郷は東京下町浅草です。この5月、7年ぶりに里帰りされるとか。「新緑の季節と三社祭が楽しみです。」と語る帰山さんの嬉しそうな笑顔がきらきらと輝いていました。

インタビュー 芳賀 悦子

2007年5月はグアム観光40周年月間

1967年5月1日、日本の旅客を乗せたパンアメリカン航空の羽田からの直行便がグアム国際航空に着陸しました。この飛行機の扉が開けられた時に「観光産業」というグアムの新しい進路がオープンし、今やグアムの不可欠な主要産業にまで成長したのです。

今年の5月はその40年目に当たります。グアム政府は2007年5月を「グアム観光40周年月間」に制定し、去る5月1日にはグアム観光局会議室に於いて、カマチョ知事による40周年月間宣言式が挙行されました。

「徒然なるままに...」

最近インターネットでいろんな物が手に入る便利な環境が整っていると思う。品質に疑問があってははじめは興味もなかったが、これだけ普及してくると売る側も会社の信用を賭けサービスにも余念がない。私も母の日には鉢植えのカーネーションをオーダーした。何度か使っているとかみさんの誕生日や結婚記念日には前もってメールで通知してくれる。夫婦の絆の手助けもやってくれているのだ。それはそれでいいと思っていたが、先日友人から手書きの手紙を貰った。1週間も掛かって届いていた。懐かしかった。何度も読み返しているうち、じゃあ、と思い自分でもはがきで返事を書いた。字が下手になったなあ。でもそれはそれで気持ちが伝わるだろう。元来自分はアナログ型の人間だったことも思い出した。そうか、今度のかみさんの誕生日は自分で店に行こうかな。忘れさえしなければ大丈夫なんだけど。 編集委員 T.N.

図書便り

～寄付者リスト～

2006年度、図書/ビデオ/DVDを寄付していただいた方々、本当に有難うございました。図書をはじめ、特にビデオ、DVDの増加には会員の皆様の喜びの声が再々聞こえてきております。2005年4月1日から2006年3月31日までに寄付いただいた方々のお名前です。

(あいうえお順、敬称略)

Bang Bo-Hyun, Ho Yumi, North West, 秋穂由加、アダムソン幸江、荒井尚美、池田千夏、市川喜美代、市川幸恵、伊藤美雪、今井裕子、岩中守正、白井克典、ウッドレー節子、浦木巧臣、江崎友理、大久保恵子、大島恵子、大島菜穂、大谷一英、岡野豊、小熊陽子、押野とみこ、オングス恵美、柿田佑三郎、片桐悠爾、勝野賢、角倉幸子、金淵ゆり子、香山悦子、川崎並美子、木村よし子、クラウス昌子、クルース孝子、河野真/佐知子、木暮ひとみ、小林利朗、小林正典/弘子、今富美子、齋藤万里子、齋藤正紀、サイモン由美、桜井勉、笹山園美、清水実知子、清水美雪、ジュラトン麻里、鈴木美樹、セベダのり子、タイタノ若葉、高木秀暢、竹内美貴、立石博士、谷有紀、谷口幸紀、田廻精一郎、辻ワニタ、筒井英利子、鶴田、ティズデルよしみ、デッドレイさと子、テノリオ美奈子、天島実沙子、遠山よし子、時重夏見、戸辺聡子、戸部美香、鳥井義惟、長島義人、永橋英朗/春美、中野美紀、長浜由紀子、中浜利生、中村温水/多美子、中村裕子、野崎愛、野間裕恵、芳賀悦子/俊介、ハドリー愛、長谷川洋子、原田世緒子、ピーターひろ子、東多栄、ファーマンサンディ、ブキャット富輝代、藤井美江、ヘイズタ紀子、ペレス薫、ボウルズ靖子、ホーマンミエ、ボダリオ久子、松本彰/葉保子、松本園子、松山久、マニブサン玲子、皆川寿苗、峰岸睦子、村川美樹、メンドーザ涼子、茂木みどり、山木直人、山下啓子、山下周彦、依田史、ルイスシーラ、渡辺礼子

会員の皆様の投稿募集しています!

♪兜をかぶったイグアナ君

「ラッテ」に掲載する皆様からの投稿原稿を募集しております。音楽や映画に関するコメントや故郷の紹介、または自分のヒーローに関してやグアム生活に役立つ情報あるいは疑問に思うこと等々。会員のための「ラッテ」ですでお気軽に投稿してください。お問い合わせは日本人会事務局まで。



ライブラリー発掘

「バンカー、そして神父」放蕩息子の帰還 谷口 幸紀 著

「人生はほんの小さな偶然で大きく方向が変わるものであるが、私はそれを単なる偶然とは考えていない。」(本文203ページより抜粋)これはマザー・テレサが日本で著者を面接することになっていたのに彼女の持病が悪化して来られなくなったことに対して書かれたものだ。日本人会会員のサンティアゴ神父と共に1月半ばに日本人会を訪ねられた著者は優しく人を惹きつける眼差しが印象的であった。香川県高松の教会から1ヶ月余りグアムの教会のお努めで訪問された際、自書のこの本を日本人会に寄付して下さった。人はそれぞれのドラマをもって生きている。以前は何々をしていたが現在はこれこれをしている、という話はよく聞く。実際私にもある。この本のタイトルのごとく、以前は金融界でウォールストリート(アメリカ)、ドイツ、ロンドンを駆け回っていた著者がバチカン(ローマ)で神父に転職する過程を読みどころとしている。サンティアゴ神父によると別の職から転職して神父になるケースは少なからずあるという。しかし、この本の魅力は自分のドラマを綴る著者の洞察力とペナマンシップだと思う。バイクの事故から始まるこの本は読みやすくてもおもしろい。何か映像を見ているような錯覚に襲われるほど描写や表現がうまい。そして次はどうなるのか本をおきたくないのである。なんと純粋で自分に偽りなく生きてこられたかと感心しているも聖地エルサレムで「お泊り保育作戦」をやりだす茶目っ気ぶりのも伺える。この本を読まれたある会員の方は「宗教書によくありがちな、押し付けの言葉で浮き上がった現実味のない文章ではなく、作者自身、生身の人間が生言葉で赤裸々に書いている。」と感想を述べている。ほんの小さな偶然で私も今はここグアムに住んでいる。それでもこれはきっと単なる偶然ではなく何かの導きがあったからであろう、と放蕩娘の私は思うのである。

編集委員 中尾 真弓

編集後記



先月、4月8日のイースターを百合を見ながら実家で過ごそうと帰ってみるとちょうどいいタイミング(?)で、母が切迫骨折の為入院していた。高齢と骨が弱いせいも有り入院中に新たな骨折をくりかえして退院の日は延期となった。短い10日間、母と娘の水入らずの触れ合いをベッドの脇で私は楽しんだ。病人は無力である。やってもらうままに甘んじている。相部屋の気まずさも母は味わったが、先に退院していく人に親しみを覚えていた。海外に住み、離れているとなお更、親不幸の感を免れない。母の存在一大病でどんなに辛かろうとずっと生きていてほしいと思う。南十字星が輝く5月の空の下でそう願っている。

編集委員 大久保 恵子



近畿日本ツーリストグループ

予約スタッフ・ツアーデスク員募集

フルタイム希望・パートタイム可・運転免許証保持者

ベネフィット:有給休暇、健康保険、生命保険、401Kプラン等
経験者優遇・トレーニング制度有り

詳しくは面談の上で相談下さい。

タムニング・フォートタウンプラザ2階

お問合せは TEL:649-6850 ミッチまたはミエまで

テ・キエロのご案内

オーシャンフロントの個室でパーティーを!

大切な方のおもてなし、バースデーなどお祝いのパーティー
にウエディングコースメニューを特別ご料金でご用意いたします。
お一人様 \$75 (メイン料理 魚・お肉料理お選びいただけます)

*** お祝いのパーティーにはテ・キエロ特製ケーキをプレゼント!!**

全て個室会場ですので、自由なプランをご利用いただけます。
(CDプレイヤー、DVDプレイヤー貸出無料)

楽しいパーティーとなりますよう企画等もご相談承ります。
ご予約・お問い合わせ 647-5100 松本又はビテルまで

ピアリゾートコンドミニアム: ピアマリンコンドミニアム

2寝室1浴室 (リノベーション済) \$1600/月より 2寝室2浴室 (リノベーション済) \$1200/月より
3寝室2浴室 (リノベーション済) \$2000/月より 3寝室2浴室 (リノベーション済) \$1700/月より
(電気水道込)



短期レント(1ヶ月より)も受け付けています。
キッチン付きステューディオルーム (床全面タイル)
毎月の賃貸料 (1年賃貸の場合) 950~1050ドル

* お問い合わせ ☎ 646-7422 松本、山野井まで。

* 詳細は <http://www.piahotels.com/rent.html> をご覧ください。

『 養いましょう。甦る力 』

トリートメント・メニュー

— 30分、45分、60分 —

- ・全身指圧
- ・足裏ツボ指圧 ・ロミロミ(オイルと指圧のコンビネーション)

* サウナ・ジャグジーをご利用のお客様は水着をご持参ください。

お問い合わせ、ご予約は 646-2525

営業時間: 午後2:00 ~ 深夜12:00



MASA SHIATSU
Sauna & Spa

Since 1975

オンワード・ビーチ・リゾート 3階



東京マートのおすすめ

今月は多くのお客様よりご質問を頂く『ローカルエッグ』が東京マートに行ってもない! (~ ~ ~) についてお知らせしたいと思ひます。昨年未よりグアムの養鶏場が閉鎖された為、入手困難な状態となりまさに『幻のローカルエッグ』となりお客様にご迷惑をお掛けする結果となりました。しかし、当店ではグアム大学に協力を要請し、一部研究用に飼育している鶏の卵を週に一度不定期ではありますが特別に分けて頂いております。少量ですお客様に行き渡らずご不満とは思ひますが、一人でも多くのお客様にご賞味頂けるように、一度のお買い上げにつき1パックとさせて頂いております。何卒皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

幻の卵 ローカルエッグ \$2.99/pk 6個入

数に限りが御座いますので予定数完売場合はご提供出来かねます。
また、入荷予定船が遅延の場合は商品の陳列が遅れる場合も御座います。

今月も皆様のご来店を心よりお待ちしております。店長

東京マート646-6615 月~土 10:00am ~ 8:30pm
日 10:00am ~ 6:30pm

やっぱりタモンに住みたい!!

マイアナ・エアポート・プラザ
タモン・ホライゾン・コンドミニアム

2、又は、3ベッドルーム \$1,150/月より
(電気、水道、基本ケーブル、プール)

【お問い合わせ】

☎ 646-6961 (ジン)

☎ 649-9666 (遠山) まで



TOTO ウオッシュレット



米国向け
115ボルト仕様
変圧器 不要!!

取り付けは、ドライバー1本で簡単。
その他、東陶製品、空調機などの
修理・サービスなど承ります。
お気軽にお問い合わせ下さい。

Port Enterprises (Guam) Inc. dba: DAIKIN
TEL: 646-6722 / 1722, Fax: 646-4878
Cell: 687-0085 (後藤) E-mail: port@kuentos.guam.net

あなたのために、ご家族のために プロによる歯科治療

私達「ハファディファミリーデンタルPC」
スタッフにぜひ一度ご相談下さい。
一人一人の状態に合ったアドバイス・治療を
いたします。

Yas Takenaka, DDS
General Dentist

Victoria Cheng, DMD
Children's Specialist

David Marutani, DMD
General Dentist



Phone: (671)649-7851/52
タムニング、ITCビルディング
104号室 (ロビー階)
営業時間: 8~17時 (月・水・金・土)
9~18時 (火・木)



グアム日本人会

・所在地: ITCビル2階217号室・住所: P.O.Box 7962 Tamuning, Guam 96931・Tel: 646-8066・Fax: 646-8067・Eメール: jpclub@ite.net
グアム日本人会ニュース 2007年5月 第1号 / 発行年月日: 2007年5月15日 発行責任者: 田中 哲男 / 編集委員長: 岩中 守正